

叙勲 瑞宝双光章 受章



(公社) 東京都診療放射線技師会 元理事

あ た か さ と み
安宅 里美

昭和40年3月13日生 (61歳)

【経 歴】

昭和61年 3月31日

新潟大学医療技術短期大学部 診療放射線技術学科 卒業

昭和61年 6月10日

診療放射線技師免許 取得

【職 歴】

昭和61年 4月～平成 1年12月

埼玉医科大学附属病院

平成 2年 1月～平成12年 9月

(医) 三慶会 指扇病院

平成13年 2月～令和 6年12月

(医) 静恒会 本多病院 検査グループ長

令和 7年 1月～ 現在

(医) 静恒会 本多病院 検査科科长

【団体歴】

平成15年 4月～令和 4年 6月

(社) 東京都放射線技師会 学術委員

(現 (公社) 東京都診療放射線技師会)

平成21年 4月～平成23年 3月

(社) 東京都放射線技師会 ホームページ委員

平成23年 4月～平成24年 5月

(社) 東京都放射線技師会 ホームページ委員長

平成24年 5月～令和 2年 6月

(公社) 東京都診療放射線技師会 理事

令和 2年 6月～ 現在

(公社) 東京都診療放射線技師会 情報委員

【賞罰歴】

令和 2年

東京都福祉保健局長 感謝状

令和 6年

(公社) 日本診療放射線技師会 功労賞

「瑞宝双光章」受章にあたり

安宅里美

令和8年4月29日付けにて、公益社団法人東京都診療放射線技師会の推薦により、瑞宝双光章を受章いたしました。同5月1日に東京都庁にて伝達式に臨み、同月13日には皇居宮殿「豊明殿」にて天皇陛下に拝謁の栄を賜りましたことをご報告申し上げます。

江田哲男会長はじめ、この度の叙勲に関する一切を取り仕切っていただいた高野修彰理事、役員の皆様、表彰委員の皆様、そして技師会活動を支えてくださった多くの皆様方に、心より深く御礼申し上げます。

平成15年より学術委員として日々研鑽を重ね、その後、本会ホームページの制作・運用やメディア制作関連を担当する情報委員会の長としての責務に当たりました。公益事業のためのコンテンツの充足を図りつつ、セキュリティにも配慮したホームページ制作は、時に困難な作業にも直面しましたが、皆で協力し、満足のいくものを作り上げたことの積み重ねが、この度の榮譽に繋がったものと感慨深く思っております。

今回の受章は私一人がいただいたものではなく、学術委員として、情報委員長としての活動に際し、支え、ご指導いただいた諸先輩方や、共に力を尽くしてくれた委員とともにいただいたものであると受け止めております。

今後も委員として席を置き、委員長を支え、会員の皆様そして都民の皆様のために有益となる情報を、ホームページを通じて随時発信し、時代に即したニーズに応えられるよう尽力してまいります。

結びとなりますが、東京都診療放射線技師会のより一層の発展、並びに皆様方へのご健勝を祈念申し上げ、御礼のご挨拶とさせていただきます。

安宅里美先生 瑞宝双光章ご受章 祝辞

前会長 江田哲男

このたび、本会会員である安宅里美先生が、令和8年春の叙勲において、これまでの多大なるご功績により栄えある叙勲を受章されましたことをご報告するとともに、心よりお祝い申し上げます。

安宅先生は、昭和61年に診療放射線技師免許を取得されて以来、長年にわたり医療の最前線で研鑽を積んでこられました。埼玉医科大学病院での高度救急医療への従事を皮切りに、地域の中核病院や地域密着型病院において、常に患者の立場に立った誠実な医療を実践されてきました。現在は医療法人社団静恒会本多病院の検査科長として、放射線・臨床検査の両部門を統括されるとともに、医療安全管理や放射線安全管理の責任者として、安全かつ高品質な検査体制の構築に尽力されています。

本会における活動においても、そのご貢献は誠に多大であります。平成15年より学術委員として研修会の企画・運営に携われたのをはじめ、特に情報発信の分野において先駆的な役割を果たされました。平成21年からはホームページ委員会の委員長、のちに情報委員長や理事を歴任され、それまで外部委託であった本会ホームページの内製化を実現。現在に至るまで、会員および一般市民への有益な情報発信の基盤を築き上げられました。

また、特筆すべきは、2011年の東日本大震災および福島第一原子力発電所事故におけるご活動です。安宅先生は東京都からの依頼を受け、避難住民の方々へのサーベイ活動に献身的に従事されました。東京ビッグサイトや味の素スタジアム等の避難所において、自ら避難者の測定にあたるだけでなく、協力技師の手配や調整といった困難な運用業務を一手に引き受け、未曾有の事態における安全確保に大きく寄与されました。

さらに、定款諸規程等検討委員として本会の組織基盤の整備や個人情報保護規程の策定にも尽力されるなど、その活動は専門領域に留まらず、職能団体の健全な運営にも深く関わっておられます。

このたびのご受章は、安宅先生の診療放射線技師としての高度な専門性と、職能団体への献身的な活動が、広く国民の保健医療の向上に寄与したものと高く評価された結果にほかなりません。

安宅先生の今後ますますのご健勝をお祈り申し上げますとともに、引き続き本会および後進の指導に、変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。